



認知症サポーターとしての播磨町立図書館

～認知症の方でも親しみやすい図書館を目指して～

認知症サポーターとして活躍する播磨町立図書館スタッフの皆さん

玉田純子さん、木村愛友美さん、黒木祐子さん

①認知症サポーター講座を受講しようと思っ
たきっかけはなんですか？

利用者の方々にも高齢の方が増えてきた
ことから、図書館でも高齢の方や認知症の方
へのより良いサービス提供の為に、認知症の
原因や症状などの基本的な事から、適切な
対応方法などを学ぶ必要性があると考え、認
知症サポーター講座を受講することにしまし
た。

②認知症サポーターになってから何か変化は
ありましたか？

日頃から業務の中で、困っている方がいな
いか等を含め、積極的に館内の見回りを行う
様になりました。

時々、「認知症の為に自宅に帰れなくなっ
ている方の来館はないか？」など、地域包括
支援センターから連絡を受ける事がありますが、
そういう場合は特に気を付けて館内の見
回りを行う様になっています。

③認知症サポーターとしてどのような活動をし
ていますか？

シニアの方向けに「老いを知る 老いを暮
らす」と題したコーナーを設け、認知症の方
への理解や対応方法を知る事が出来る資料を
集めています。

また、毎年9月の「世界アルツハイマー月
間」には、展示コーナーに認知症関連書籍を
展示するなどの認知症啓発活動にも取り組ん
でいます。

④今後、認知症サポーターとしてやってみた
い取り組みはありますか？

認知症に不安がある方や認知症の方のご家
族、地域の方々に、認知症について正しく理

解して頂ける様に、認知症に関する書籍コー
ナーの拡大を図るなどとして、図書館から認知
症の事を積極的に発信出来ればと考えていま
す。

⑤認知症サポーターとしてのやりがいはいくら
ですか？

実際にシニア向けの書籍コーナーを作り、
そこに認知症関連の書籍を置いてみると、よ
く貸し出される様になり、皆さんの関心度が
高い事を実感しました。これからも地域の
方々に認知症に関心を持って頂ける様な書籍
をご紹介出来ればと思っています。

⑥どのような思いで今後の活動を継続してい
たいと思いますか？

子どもから高齢の方まで、図書館は様々
な方が利用されますが、スタッフ一同、皆さ
んに快適に過ごして頂ける様に今後も努めて
いきたいと思っています。

日頃の図書館業務の中で認知症の方が来ら
れたとしても、認知症の事を理解して対応出
来る様に心掛けたいと思います。

認知症の方にも親しみやすく居心地の良
い図書館でありたいと思います。

⑦最後に図書館からお伝えしたい事はありま
すか？

播磨町立図書館では、シ
ニア向けや認知症の書籍だ
けではなく、様々な書籍や
資料の貸し出しをしてお
ります。ぜひ、お気軽に足を
お運びください。皆さまの
お越しをお待ちしております。



ひょうご認知症サポート店とは

認知症サポーター養成講座を受講した人を店舗や窓口に配置し、認知症のある人への正しい理解と適切な対応に努める企業などです。町内のサポート店は現在26事業所。ひょうご認知症サポート店ステッカーが目印です。認知症サポート店として登録を希望される事業所は播磨町地域包括支援センターへご連絡ください。



平成31年4月開催時の様子

認知症になっても暮らしやすい地域にしていけるため、みんなで認知症を知っていくことが大切です。

認知症サポーターをご存じですか？

▶問合せ 播磨町地域包括支援センター ☎079 (435) 1841

対象

主に町内在住・在勤の人
会社、自治会、各種団体、
サークルなど



受講後にお渡しする、サポーターカード

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

播磨町では、延べ4千人を超える認知症サポーターがいます。認知症になっても暮らしやすい地域にしていけるため、みんなで認知症を知っていくことが大切です。

認知症サポーターになるには？

①認知症サポーター養成講座の開催日時、受講人数、場所を検討し、播磨町地域包括支援センターへお電話ください。
※開催場所として、福祉しあわせセンターを利用することもできます。

②講師紹介を行い、認知症サポーター養成講座を受講していただき、教材とサポーターカードをお渡ししています。

- 認知症のある人にとってできること**
- 認知症のある人へ
見かけたら、
- 対応の心得 3つの「ない」
 - ① 驚かせない
 - ② 急がせない
 - ③ 自尊心を傷つけない
- 具体的対応の7つのポイント
- まずは見守る
 - 相手の目線に合わせてやさしい口調で
 - 余裕をもって対応する
 - おだやかに、はっきりとした滑舌で
 - 声をかけるときは1人で
 - 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
 - 後ろから声をかけない



認知症になっても安心して暮らすために
～高齢者等見守り・SNSネットワーク事業の事前登録制度をご利用ください！～

▼登録・問合せ 福祉グループ ☎079 (435) 2361

播磨町では、認知症の病気により、行方不明になる可能性のある方などを、関係機関やネットワーク協力事業所と連携し、日頃からの見守りや行方不明になった場合に速やかに発見活動を開始し、速やかに発見するために事前登録を勧められています。

事前登録制度とは？

事前に本人の身体的特徴や連絡先、写真などを登録しておく制度です。(事前登録情報は、町・加古川警察署・播磨町地域包括支援センターで共有されます)

登録者には、靴などに貼れる反射ステッカーをお渡ししています。

認知症についてのご相談は、認知症相談センター（播磨町地域包括支援センター）へ
(播磨町南大中1丁目8-41)
播磨町福祉しあわせセンター内
☎079 (435) 1841
お気軽にお電話ください。

